

## 岩代 一宏 議員



**Q** 本村における地球温暖化防止の取り組みその後の状況は。

**A** 地球温暖化については今日様々な

な異常気象をもたらしており、近い将来深刻な事態を招くと予測されており、本村においても5カ年計画で地球温暖化防止実行計画を立てて行動しており、現在11%近くの削減状況になっている。今後は地域が密に連携し深刻化するこの問題の解決に向け対応策を取っていく。

努力したい。また、今回村内3つの中学校にソーラーシステム導入の予算を計上しており、バイオマス・風力等々にも無駄無くアンテナを張り敏感に対応したい。

**Q** 関東・関西村人会の今後のあり方について。

**A** 先方の事務局とも相談し前向きに進めたい。また今回は関西地区の久代商店会の方々が南阿蘇村に高い関心を示されていることもあり、まずは人の交流を起こすことから始め、さらに物流へと繋がるようなこと



関西村人会のようす

も十分検討しながら、良い形で継続できるよう努力したい。

## 安達 辰喜 議員



**Q** 21年度特定検診の経過及び結果、また今後の推進について。

**A** 健康推進課

本村においても40歳〜74歳の方々3083名に対し、検診の申し込みを周知し実施した結果、受診された方は1233名、受診率にして40.0%であった。すでに生活習慣病を受診加療中の方もおられ、本村が実施しなければならぬ特定保健指導の対象となられる方は190名。指導対象者のうち希望される方に対し、腹部CTによる内臓脂肪の検査等二次検査を実施し、生活習慣改善の必要性について詳しく説明を行っている。今年度の受診率については40.5

**A** 村長

健康づくりというものは若い時から年を重ねていくまで一貫してそれなりの努力をしていく、健康づくりを考えて行政を進めていくことが大

%程度と微増にとどまる見込みである。検診の申し込みをされたにも拘らず受診されなかった方に対し、熊本市の総合保健センターにおいて受診の機会を年度末までに設けることを検討している。今後とも一人でも多くの方が受診されるよう、あらゆる機会を通して啓発していきたい。

事なことだと思っている。保険税・後期高齢者の保険料・介護保険料、医療費そのものが負担に直結していく今の形では、将来的に無理があると思う。そこには人的な経費も多かり何割かは被保険者に跳ね返ってくるものが改まっていかなければ、事業の展開は難しいと思う。村として何としても医療費を削減していきたい。健康というのは本人にとっても一番大事なことであるので、担当課と話を進めながら健康づくりに取り組んでいきたいと考えている。